

あの時代ときをききた

～絵手紙でたどる拓北農兵隊の記憶～

2025

7/19 [SAT]

開演 13:30

(開場 13:00)

入場料 2,500円



1 対談

「絵手紙でたどる拓北農兵隊の記憶」

絵手紙作家 小笠原 美那子×朗読家 鈴ヶ森雅之進

2 紙芝居

「かわいそうなぞう」 読み手 小笠原美那子

3 講演

「～戦後80年～渡辺淳一の戦争と青春」

北海道立文学館 元副館長 谷口孝男

4 朗読

「ロビンソンの末裔」 開高 健 作

栗山 博・成田 英行・二階堂 玲子・宮下 郁子

会場・主催・ご予約・お問合せ

渡辺淳一文学館

TEL 011-551-1282

札幌市中央区南12条西6丁目414

駐車場のご用意はございません。

公共の交通機関か近隣の駐車場をご利用ください。

と き あの時代を生きた

～ 絵手紙でたどる拓北農兵隊の記憶 ～

日本絵手紙協会公認講師 **小笠原 美那子**(おがさわら みなこ)



小笠原（旧姓分部）美那子さんは1930年（昭和5年）10月生まれ。育った大阪は45年（同20年）3～8月の大空襲で1万人以上が死亡した。父 真さんは政府の帰農政策に応募し、43戸230人の団長として10月、オホーツク管内斜里町に入植する。美那子さんも父母と妹3人と一緒だった。

父母は翌年の春から耕し始めた。開墾地は荒れ地で、与えられた農具はくわと鎌だけ。大きな木の根を取るのに何日もかかった。母 米子さんはササや育ったソバを刈り、手は傷だらけに。入植2年目を終え、父は開拓をあきらめ、若い頃に修業した日本画で生計を立てることにし、網走市に移る。美那子さんも49年、網走女子高（現網走桂陽高）を卒業し日本通運網走支店で衛生管理者として家計を助けた。その後、結核療養を経て、当時の網走 支庁（現オホーツク総合振興局）に勤める国弘さんとの出会い、63年に結婚する。

一男一女をもうけ、家も建てたのに、79年に転勤。全道各地を9か所周り、95年に江別へ。油絵、書道、古典の朗読会、子供の本の会等、何を始めても 2～3年で友とも別れ、中断せざるを得ない状況でしたが、60歳を過ぎ、書と絵と文が一体となった絵手紙に出会い講師の資格を取得、96年から絵手紙教室を始め、94歳になった今も野幌公民館等で講師をしている。

構成・演出 **宮下 郁子**(みやした いくこ)



札幌、道内各地の他、京都平等院、東本願寺、清涼寺、東福寺、金剛能楽堂、カナダバンクーバー、東京矢来能楽堂等で朗読出演。古典の日推進委員会朗読コンテスト大賞、同京都府知事賞等受賞。元札幌医科大学保健医療学部特別講師。渡辺淳一文学館主催朗読スクール「名作を朗読しましょう」講師。

朗読 **栗山 博**(くりやま ひろし)



元公立高等学校国語科教師。市立図書館・道立文学館などの朗読イベントの他、地域FMラジオ朗読などに出演。現在、私立とわの森三愛高等学校にて非常勤講師。ドラマチック・リーディング・グループ『蔵』、なかま『鍵』、ドラマチック・リーディング・グループ〈さ・く・ら〉所属。2022年11月より、朗読会「あしたのためのglobe座」を主宰。2022年より渡辺淳一文学館主催朗読スクール「みんなの朗読」講師（現在第7期）。

朗読 **成田 英行**(なりた ひでゆき)



渡辺淳一文学館主催朗読教室スクール「名作を朗読しましょう」受講生。

朗読 **二階堂 玲子**(にかいどう れいこ)



渡辺淳一文学館主催朗読教室スクール「名作を朗読しましょう」「みんなの朗読」受講生。

舞台美術 **林 浩子 関口 淳子**

◇拓北農兵隊◇

政府は1945年5月、都市の深刻な被災状況や食糧増産のため、「北海道疎開者戦力化実施要綱」を策定。戦災者、疎開者らを対象に北海道へ5万戸20万人の集団帰農計画を立てた。同年7～11月、東京、神奈川、愛知、大阪などから25回にわたり、約3400戸、1万7千人が道内に移住した。応募すれば移住地までの運賃無料、住宅の用意、農地の無償貸与か付与、農具や種子の無償給与、移住後の主食品の配給などが約束された。だが、多くが守られず、離農者が相次いだ。名付け親は黒沢西蔵氏。終戦後は拓北農民団と改称された。拓北農兵隊を巡る主な出版物に開高健「ロビンソンの末裔」のほか、鶴澤希伊子「知られざる拓北農兵隊の記録」、大原槇子「クマイザサの二十三軒」（道新選書）などがある。